

徳山工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	総合英語		
科目基礎情報								
科目番号	0002			科目区分	一般 / 必修			
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2			
開設学科	環境建設工学専攻			対象学年	専1			
開設期	後期			週時間数	2			
教科書/教材	An Intermediate Training Course for the TOEIC L&R Test							
担当教員	吉留 文男							
到達目標								
社会生活を営むうえで最低限必要な英語の能力を身につけることを到達目標とする。外部試験での数値としては、TOEICスコア470以上の獲得である。								
ルーブリック								
	理想的な到達レベルの目安(優)			標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)		
リスニング	相手が明瞭に毎分120語程度の速度で、自分や身近なこと及び自分の専門に関する簡単な情報や考えを話す場合、その内容を聴いて理解できる。			相手が明瞭に毎分120語程度の速度で、自分や身近なこと及び自分の専門に関する簡単な情報や考えを話す場合、その内容を聴いておおむね理解できる。		相手が明瞭に毎分120語程度の速度で、自分や身近なこと及び自分の専門に関する簡単な情報や考えを話す場合、その内容を聴いて理解できない。		
リーディング	毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できる。			毎分100語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を概ね把握できる。		毎分100語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できない。		
文法および構文	高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得できている。			高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文をおおむね習得できている。		高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得できていない。		
学科の到達目標項目との関係								
教育方法等								
概要	英語によるコミュニケーション能力を高めるために、専攻科2年生の取得目標スコアであるTOEICスコア470以上を全員が獲得できるように、リスニングおよびリーディングの力を上げるためのトレーニングを行う。							
授業の進め方・方法	問題演習を通して、試験対策を行いつつ社会生活で用いられる英語を学ぶ（基本的に授業は英語で実施する）。テキストの問題（リスニングを除く）は予習をしておくこと。英語力の向上のためには日々の自学自習が望ましい。							
注意点	中間試験・期末試験・12月のTOEIC一斉試験のスコアを100点換算したものの平均 関連科目：総合英語演習I（本科4年生）							
授業計画								
後期	3rdQ	週	授業内容			週ごとの到達目標		
		1週	オリエンテーション、小テスト			授業の内容、注意事項、評価方法についての説明。TOEICのミニテスト。		
		2週	Unit 1 : Shopping			1 写真 2 応答 3 会話 4 短文穴埋め 5 読解		
		3週	Unit 2 : Food and Drink			1 写真 2 応答 3 会話 4 短文穴埋め 5 読解		
		4週	Unit 3 : Travel and Transportation			1 写真 2 応答 3 会話 4 短文穴埋め 5 読解		
		5週	Unit 4 : Entertainment and Media			1 写真 2 応答 3 会話 4 短文穴埋め 5 読解		
		6週	Unit 5 : Environment and Nature			1 写真 2 応答 3 会話 4 短文穴埋め 5 読解		
		7週	Unit 6 : Building and Corporate Property			1 写真 2 応答 3 会話 4 短文穴埋め 5 読解		
	4thQ	8週	Unit 7 : Communication			1 写真 2 応答 3 会話 4 短文穴埋め 5 読解		
		9週	中間試験			Unit 1～7で学習した内容に基づき試験を行う		
		10週	Unit 8 : Money Matters			1 写真 2 応答 3 会話 4 短文穴埋め 5 読解		
		11週	Unit 9 : Office Management			1 写真 2 応答 3 会話 4 短文穴埋め 5 読解		
		12週	Unit 10 : Jobs and Labor			1 写真 2 応答 3 会話 4 短文穴埋め 5 読解		
		13週	Unit 11 : Business Arrangements			1 写真 2 応答 3 会話 4 短文穴埋め 5 読解		
		14週	Unit 14 : Projects and Product Development			1 写真 2 応答 3 会話 4 短文穴埋め 5 読解		
		15週	期末試験			中間試験以後に学習した内容に基づき試験を行う		
16週	答案返却			答案返却と解答解説を行う				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	4			
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	4			
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	4			
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	4			
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	4			
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	4			
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	4			

				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	4	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	4	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	4	
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	4	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	4	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	4	
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	4	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0